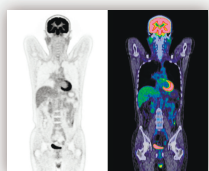


「光の眼」で診る 脳と体のスクリーニング



がん早期発見のためのPETがん検診



PET-CT 画像例

活動の活発ながん細胞は、正常細胞に比べてより多くのブドウ糖を取り込みます。PET検査では、ブドウ糖によく似た性質のくすりを静脈に注射し、その集まりを撮影した画像からがんの有無を調べます。
浜松PET診断センターのPETがん検診は、PET検査にCT検査・MRI検査・超音波検査・便検査・血液検査を組合せた全身のがんを対象とした総合画像診断で、がんの早期発見を目指しています。

- すべてのがん、または脳疾患が発見されるわけではありません。
- PET検査・CT検査では微量の放射線被曝をとまいません。
- 当センターのPETがん検診は、保険適用外的全額自己負担となります。
- 検査内容等の詳細は、当センターのウェブサイトをご覧ください。

がんで死なない、健康で長寿な社会の実現へ

浜松PET診断センターは2003年の開設以来、9,700人を超える方に延べ27,000件以上のPETがん検診を実施しています(2016年12月末日時点)。当センターを受診した40歳以上の7,977人(平均年齢57歳)を対象に、初回検診受診後2年以内のがんの発生を調査したところ、220人(2.8%)にがんが確認され、その内の194人(2.4%)のがんは当センターのPETがん検診で発見されていました(感度88.2%)。
発見がんには多種多様ながんが含まれていることから、PETがん検診は多くの臓器のがんを精度良く検出することが可能と考えられます。

一般財団法人 浜松光医学財団
浜松PET診断センター

〒434-0041 静岡県浜松市浜北区平口5000(浜松ホトニクス中央研究所内)
TEL: 053-584-6581 FAX: 053-584-6582

🚗 サンストリート浜北から西1.5km
🚗 最寄駅：遠州鉄道 浜北駅【浜北駅への送迎サービスがございます。】

お問合せ・お申込み・仮予約はこちらから

[受付窓口] 浜松ホトニクス株式会社 健康情報室
[受付時間] 月曜～金曜 午前8時30分～午後5時30分(祝祭日除く)

📞 お電話(フリーダイヤル)

0120-584-722

🌐 ウェブサイト

www.hmp.or.jp



※浜松PET診断センターの窓口業務は、浜松ホトニクス株式会社に委託しています。

HAMAMATSU
PHOTON IS OUR BUSINESS

光技術で健康で長寿な社会に貢献。

高感度と高速性に優れた浜松ホトニクスの光センサーが、がんや脳疾患の総合画像診断で活躍しています。

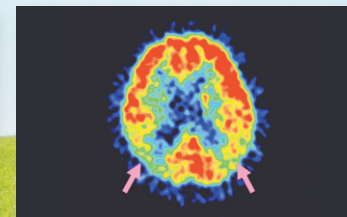
総合画像診断で、がんや脳疾患の早期発見に取り組んでいる浜松PET診断センター。その中心となるのはPET-CTであり、その心臓部である光センサーに浜松ホトニクスの製品が使用されています。
光センサーの高感度・高速性は、検査画像の高画質化に寄与し、診断精度を高めるため非常に重要となります。PET-CTは、より正確にがんを診断する上で欠かせない検査となってきています。そのPET-CTを利用した検診を実施する浜松PET診断センターを、浜松ホトニクスの光技術が支えています。



浜松PET診断センターで稼働中のPET-CT装置と、心臓部の光センサーに使用されている当社製の光電子増倍管(写真上)、Siフォトダイオード(写真下)



浜松ホトニクス社製
脳専用PET装置



アルツハイマー病のFDG-PET画像例：
アルツハイマー症に特徴的な、矢印の箇所での脳細胞機能低下が描出されています。

PETで脳細胞の働きを画像に

PETとは、ポジトロンという放射線を出す物質を含んだくすりを投与し、体内から出てくる放射線をPET装置で検出することで、くすりの体内分布を画像化し、生体機能を調べる検査法です。脳の神経細胞はエネルギー源としてブドウ糖を取り込んでいるため、ブドウ糖のくすりを体内に投与し、PETで脳を撮影すると、脳内の糖代謝の様子が画像として得られます。アルツハイマー病では、脳の特徴的な部分で糖代謝の低下が見られます。

(注：アルツハイマー病の脳PET検査は健康保険非適用)

浜松ホトニクス株式会社

健康情報室

〒434-8601 静岡県浜松市浜北区平口 5000
TEL 053-584-0722 FAX 053-584-0723 www.hamamatsu.com